



真宗高田派本山 専修寺

# 高田本山だより

令和5年冬号

136



高田本山 HP

令和5年冬号（第136号） / 発行・令和5年12月10日 / 〒514-0114 三重県津市一身田町2819番地 TEL 059-232-4171 www.senjuji.or.jp



秋空のもと、三重県仏教保育協会の大회가  
高田本山で行われました。

四年ぶりの開催となり、恒例の風船あげに、  
およそ600名のかわいい歓声が  
境内に響き渡りました。



# 自由という不自由



住職と、某龍玉を集める国民的アニメを見ながら「なんでも願いがかなうなら、何を願う？」という話になった。

「なんでも良いんやったら、もう一回大学時代からやり直すわ！違う大学受け直す！」という私。

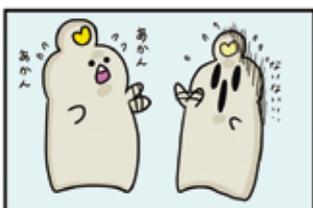
すると住職が

「違う進路を選んだら、今まで出遇った人たちとは出遇わなかった事になるかもしれないよ？」と言う。

……それは嫌や！せっかく出遇えた人たちとお別れしようない！ということで、このお願いは却下。

「じゃあ、一日中好きな事して遊んで暮らしたい！」  
 と言えば

## 自由は不自由



作・岡知道さん

「何もせず、好きな事をして過ごすのは自由で幸せと思うかもしれないけれど、そんな生活は不自由だよ。飽きっぽい坊守のことだ。三日で飽きる。」  
 と言われ、飽きっぽいってなんやねん！と思いつつも、それもそやな……と頷く。  
 「ほな、よくある永遠の命！」  
 ……と言おうと思ったが、手塚治虫先生の『火の鳥』作中でも、不老不死を授かった者の苦悩をたく

さん見て来た。死ぬ事も出来ず、独り永遠に生きるのは、真つ平御免である。  
 そう考えると「何でも願いがかなう」とは、何と不自由な事か。  
 「住職、大変や！自由に生きようと思ったのに、不自由に苦しんでいる私がおる！」  
 といえは  
 「私の思う自由に生きるじゃなくて、私の想いを超えた不自由を引き受けて生きる。それが自在に生きるって事だよ。」  
 と言われた。  
 自由にならぬ。不自由な毎日。だが、それこそが順調である。  
 ……と聴かせて頂くけど、やつぱり、グータラ過ごしたいと思う私と阿弥陀様とのひぐらしよ。  
 三重県第十八組 立法寺  
 衆徒 岡 妙重

御本山御用達

## 鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入（中央局区内）  
 電話 (075) 371-0854・8181~2番  
 FAX (075) 344-2701番  
 振替口座・0170-3-972番 郵便番号600-8344

創業1586年

## 松井建設株式会社

取締役社長 松井隆弘  
 執行役員支店長 野村守宏

本社 東京都中央区新川一丁目17番22号 ☎03-3553-1150  
 名古屋支店 名古屋市中区栄五丁目28番12号 ☎052-249-4771

「お佛壇はなぜ必要？」

近年、お佛壇のある家庭は少なくなってきたように思います。お佛壇のないご家庭の方は、多分こう返答されることでしょう。「ウチではまだお葬式を出したことはありませんから」と。

お佛壇は先祖を祀るためにあるのでしょうか？ それだけではありません。もしそれだけのものでしたらそれはお佛壇ではなく、先祖壇でしょう。

お佛壇の「佛」は覺りや真如を指し、真宗においては阿弥陀佛のこと。「壇」とは儀式の場を指し、極楽浄土を意味しています。ですからお佛壇には阿弥陀佛への皈依と教えを請う場という意味があります。つまり自らの信仰や儀礼の場ということなのです。

ここでお佛壇が私たちの信仰を支える存在であることを改めて知らされた出来事を紹介しましょう。これは東海地方のある町でのこと。死産の赤ちゃんにお経をあげ

てほしいという依頼をいただき、ある社宅の一室に伺いました。小さな箱の中には綺麗な赤ちゃんがまるで眠っているかのように。枕元にはお灯りやお花が供えられ、阿弥陀佛のお木像も用意してありました。小さいながらも六角形の屋根を持つ、立派な厨子に収まった阿弥陀佛でした。若い父親とご年配の女性が座られ一緒に正信偈を勤めました。その後しばらくお話をすると、この女性はまだ入院中の母親の実母で、娘さんの一大事と新幹線で駆けつけられていたことがわかりました。私は気になっていたあの阿弥陀佛のお木像について尋ねてみると、「私が娘に持たせたものです」との返事。葬儀社が用意したものかと思っていた私は驚きました。それは娘さんの花嫁道具のひとつだったので。話には聞いたことがありますが、本当にそうした習わしが今も生きていることを知り思わず襟を正しま

した。恐る恐る「お故郷はどちらですか」と尋ねると、「広島、安芸門徒でございます」と言って深々と頭を下げられたのです。

遠い土地へと嫁いでゆく娘を案じない母親はいないでしょう。できる限りのことは用意してやりたい、教えておきたいと思うのが親心。しかしいざという時に自分が何をしやれるともわからないのが現実。そんな時に「本当にたのむのは、阿弥陀さまだから、お念佛とともにあなたの人生を生きていきなさい」という願いがこの阿弥陀佛のお木像であります。そしてこれこそがお佛壇の信仰の場としてのはたらしきをあらわしています。

「安芸門徒」安芸地方（広島県西部）を中心に篤く真宗を信仰する信者の総称。その歴史は古く鎌倉時代末に遡る。

（教学院第三部会）



日本古来より伝わる土壁の家づくりと伝統建築の保護・再生  
土壁・漆喰・電の伝統技術を守り継承していきます



Sochikusya Co.,Ltd

〒510-0031 三重県四日市市浜一色町 16-35

TEL 059-332-1444 FAX 059-344-2627

E-mail : souchikusha@gmail.com URL : https://tutikabe.net/

法衣・仏具製造及び販売



井筒法衣店



代表取締役社長 今開規代  
●本社  
600-8468  
京都市下京区堀川通  
新花屋町角(西本願寺前)  
Tel 075-351-1234  
0120-075-720  
Fax 075-341-7905  
●東京店  
160-0008  
東京都新宿区四谷  
三栄町十四番地三二  
Tel 03-3358-1500  
Fax 03-3359-8902

オンラインショップはこちらから →

# 報恩講ご案内

報恩講は開山親鸞聖人への「ご恩に報いる講」。真宗高田派本山では一月九日から七夜八日にわたり「お七夜」として、一年で一番大切な法会としてお迎えします。令和六年の報恩講を皆さまとご一緒に迎えましょう。

9日～15日

お七夜竹あかり展（境内）

9日～16日

お七夜献書展  
（大玄関廊下）

9日～16日

ののさまをえがこう展  
（御対面所）

9日～16日

雲幽園見学  
10時、13時

（但し9日は13時、16日は10時のみ）

## 2024年お七夜行事予定

1月9日 (火)	10:30 高田幼稚園参拝 12:00 お七夜はたちの集い（受付：宗務院） 12:30 速夜勤行・説教① [LIVE 配信] 15:20 お七夜布教大会（大講堂） 16:30 初夜勤行・説教② [LIVE 配信] 17:30 お七夜竹あかり展 点灯式
1月10日 (水)	07:00 晨朝勤行・説教③ [LIVE 配信] 09:00 高田学苑参拝（御影堂） 10:30 日中勤行・説教④ [LIVE 配信] 12:30 大講堂説教⑤ [LIVE 配信] 14:00 速夜勤行・説教⑥ [LIVE 配信] 15:20 お七夜布教大会（大講堂） 16:30 初夜勤行・説教⑦ [LIVE 配信]
1月11日 (木)	07:00 晨朝勤行・説教⑧ [LIVE 配信] 10:30 日中勤行・説教⑨ [LIVE 配信] 12:30 大講堂説教⑩ [LIVE 配信] 13:00 お七夜婦人連合会（御影堂） 14:00 速夜勤行・説教⑪ [LIVE 配信] 15:20 お七夜布教大会（大講堂） 16:30 初夜勤行・説教⑫ [LIVE 配信]
1月12日 (金)	07:00 晨朝勤行・説教⑬ [LIVE 配信] 10:30 日中勤行・説教⑭ [LIVE 配信] 10:30 高田保育園参拝 12:30 大講堂説教⑮ [LIVE 配信] 13:30 お七夜坊守会（受付：宗務院） 14:00 速夜勤行・説教⑯ [LIVE 配信] 15:20 お七夜布教大会（大講堂） 16:30 初夜勤行・説教⑰ [LIVE 配信]
1月13日 (土)	07:00 晨朝勤行・説教⑱ [LIVE 配信] 09:00 特別講演（如来堂） <sup>⑲</sup> 10:30 日中勤行・説教⑳ [LIVE 配信] 11:45 責任役員会（受付：御影堂前） 12:30 大講堂説教㉑ [LIVE 配信] 14:00 速夜勤行・説教㉒ [LIVE 配信] 15:20 お七夜布教大会（大講堂） 16:30 初夜勤行・説教㉓ [LIVE 配信]
1月14日 (日)	07:00 晨朝勤行・説教㉔ [LIVE 配信] 09:00 特別講演（如来堂） <sup>㉕</sup> 10:30 日中勤行・説教㉖ [LIVE 配信] 12:30 大講堂説教㉗ [LIVE 配信] 13:00 お七夜高田派青年会 14:00 速夜勤行・説教㉘ [LIVE 配信] 15:20 お七夜布教大会（大講堂） 16:30 初夜勤行・説教㉙ [LIVE 配信]
1月15日 (月)	07:00 晨朝勤行・説教㉚ [LIVE 配信] 10:30 日中勤行・御親教・復演 <sup>㉛</sup> [LIVE 配信] 12:30 大講堂説教㉜ [LIVE 配信] 12:30 国宝御影堂特別拝観 14:00 速夜勤行・説教㉝ [LIVE 配信] 15:20 お七夜布教大会（大講堂） 16:30 初夜勤行・説教㉞ [LIVE 配信] 16:30 お七夜婦人連合会初夜参詣（御影堂） 23:00 後夜 00:00 お七夜竹あかり展 消灯
1月16日 (火)	07:00 晨朝勤行・説教㉟ [LIVE 配信] 09:00 御参廟 10:30 日中勤行・説教㊱ [LIVE 配信] 12:30 大講堂説教㊲ [LIVE 配信]

だいこうどう 大講堂(12時30分)
⑤ 松田 信慶 和歌山市 崇賢寺住職 権大僧都 輔講 「弥陀の聲に生かされて」
⑩ 中村 宜成 四日市市 光輪寺住職 権中僧都 証義 「本願力にあいぬれば むなしくすぐるひとぞなき」
⑮ 安藤 純海 岡崎市 蓮珠寺住職 律師 「四苦八苦」
⑳ 花山 光瑞 明和町 迎接寺住職 少僧都 「私を包む他力の信」
㉓ 鳥 義厚 大阪市 聖賢寺住職 権中僧都 証義 「現生正定聚」
㉞ 松山 智道 鈴鹿市 随願寺住職 権中僧都 輔講 「ただこの高僧の説を信ずべし」
㊱ 安田 真源 京都市 安立寺住職 権中僧都 証義 「無明の闇を破する慧日なり」



毎週月曜日 よる7時  
(毎週土曜日 12時再放送)  
YouTubeで見逃し配信も!  
公式ホームページをチェック。三重テレビ ええじゃないか



毎週(月)～(金)  
夕方5時40分から生放送

三重の話題を  
どこよりも幅広く、  
詳しく深掘りして  
“三重のとれたて情報”  
を生発信!  
メッセージはこちらから→



**MTV 三重テレビ放送**



高田本山御用達  
三重県仏教会御推薦

石碑  
記念碑  
燈籠



高級御影石専門店

**御影石材株**

〈石に御用の方は〉 イシニゴキョ

☎0120-142540

本店 津市広明町(影見寺門前)  
☎059-224-1700(代)

# 報恩講説教一覽表（令和六年一月）

	じんちよう 晨朝（午前7時）	にっちゅう 日中（午前10時30分）	たいや 逮夜（午後2時） 9日のみ（午後12時30分）	しよや 初夜（午後4時30分）
9日（火）			①戸田 栄信 岡崎市 浄泉寺衆徒 権大僧都 擬講 「願われているいのち」	②佐藤 弘道 津市 浄徳寺副住職 中僧都 証義 「不信心」
10日（水）	③吉尾 真祐 大阪市 大乘寺副住職 律師 「行と信とは御誓いを申すなり」	④真置 信海 松阪市 法性寺副住職 権少僧都 「如来の作願をたずぬれば」	⑥岡 知道 四日市市 立法寺住職 少僧都 証義 「「おかげさま」という自慢」	⑦水谷 忍英 鈴鹿市 本照寺住職 律師 「臨終の善悪」
11日（木）	⑧生桑 崇等 津市 来照寺衆徒 権中僧都 証義 「虚仮不実のこの身」	⑨里榮 秀教 鈴鹿市 法林寺住職 権中僧都 証義 「なもあみだぶつをとどうれば」	⑪戸田 恵信 岡崎市 浄泉寺住職 中僧都 証義 「悪を転じて徳を成す正智」	⑫鷲山 了悟 津市 真楽寺住職 権中僧都 「お名号に救われ」
12日（金）	⑬北畠 心淳 鈴鹿市 称名寺副住職 律師 「一番美しい着物」	⑭藤浦 弘導 鈴鹿市 浄国寺住職 権中僧都 証義 「凡夫人「煩惱具足のわれら」	⑯大河戸 悟道 豊橋市 正太寺住職 律師 「お念仏のはたらき」	⑰藤井 徳雄 鈴鹿市 了性寺住職 中僧都 証義 「愚かな私 それさえも知らない」
特別講演（如来堂 午前9時）				
13日（土）	⑱栗原 妙直 権大僧都 輔講 「遠く宿縁を慶べ」	⑲浦井 宗司 鈴鹿市 深穉寺住職 権大僧都 証義 「生死の苦海ほとりなし」	⑳隆 妙澧 四日市市 浄福寺住職 律師 「一瞬さす光」	㉑千草 篤昭 津市 善休寺住職 少僧都 「心の雑毒」
14日（日）	㉒金信 玄昌 権中僧都 輔講 「兩重の因縁 -光明、名号、父母-」	㉓中川 鳳瑞 津市 妙華寺副住職 権大僧都 擬講 「つねに我が身を照らすなり」	㉔田中 明誠 鈴鹿市 欣念寺住職 権中僧都 証義 「法に生きる」	㉕芳川 賢史 津市 報恩寺住職 中僧都 擬講 「仏はまします」
復演（御影堂 御親教後）				
15日（日）	⑳清水谷 正尊 大僧都 鑑学 復演	㉖藤田 正知 津市 延命寺衆徒 権中僧都 擬講 「阿弥陀さまの願いと私の姿」	ごしんきょう 御親教	㉗金森 顕宏 大野市 専福寺住職 権大僧都 証義 「本願成就の世界 - お浄土 -」
	㉘上田 英典 四日市市 崇顕寺衆徒 少僧都 「摂取不捨のおはたらき」	㉙島 義恵 岡崎市 聖洞寺住職 権大僧都 擬講 「釈迦弥陀は慈悲の父母」		㉚栗原 廣海 四日市市 誓元寺住職 権中僧都 鑑学 「他力回向の仏教」
16日（火）				

※全ての説教、御親教は  
YouTubeにてLIVE配信します。

人口減少社会へ突入した地域に必要なのは「お寺」だと思う。

対話から生まれる情報発信や  
コミュニティをサポート！

三重に暮らす・旅するWEBマガジン  
OTONAMIE

otonamie | 14,500フォロー突破！  
mail otonamie@gmail.com | 059-268-3538 (壽印刷工業株式会社)

お寺の実績紹介記事

地域をつくる。お寺とともに

永田文昌堂

最新刊 ①生誕160年新装版 清沢満之先生のことば  
大河内了悟・佐々木 蓮麿 共著  
名倉 幹校訂 定価1,100円(税込)

1963年に清沢満之先生の生誕百年を記念して出版されたものを、若干用語の是正を行い、また旧字体を新字体に改めて、新装版として出版したものを。清沢先生が命懸けで求道された内容を集約した人生のハンドブック。

新刊 ②親鸞仏教の基礎研究  
川添 泰信著 定価13,200円(税込)

本書は、浄土仏教の問題、親鸞仏教の問題、真宗伝道の問題、真宗聖教の書誌および概説の四部構成。主に法然浄土教、親鸞浄土教における生死の問題、真宗伝道論の研究、三帖和讃と教行信証、『破邪顕正抄』の書誌などについて考察する。

京都市下京区花屋町通西洞院西入 TEL 075-371-6651 FAX 075-351-9031

桜の名所 桜道の乗願寺  
真宗高田派専修寺

# 横浜別院



横浜の桜の名所、桜道にござい  
ます乗願寺は（1597）三月七  
日、武田玄了が起立したと伝えら  
れます。

古文書によると開基とされる武  
田玄了は甲斐の武田勝頼の舎弟で  
武田女正玄了と称したが、京都の  
本願寺十二世大僧正准如上人に帰  
依し、釋玄了法師と号して、久良  
岐郡松本村に一字を建立したのが  
当時の発祥と伝えられています。  
当初は本願寺に帰属し、その後六  
代住職の折、高田派に付属したよ  
うです。

明治五年（1872）に新築し

た堂宇は本堂兼庫裏で間口七間  
半、奥行四間半、屋根は草葺で  
あって、関東大震災にも被害は僅  
少でありましたが、建物が風雪に  
耐えかね老朽化、昭和四十四年  
（1969）、本堂兼庫裏の七間口、  
奥行き六間半、本堂の屋根は瓦葺  
で新築しました。

約百年の間、横浜の甚行寺、笹  
下成就院の歴代住職が代務住職を  
務め、武田家御一同が幾多の苦難  
を乗り越え護持をしてきました。  
平成十二年（2000）当時の

関東別院輪番発案のもと、高田本  
山専修寺、専修寺関東別院の役員  
会の承認を得て、乗願寺を高田本  
山専修寺関東別院出張所「高田山  
乗願寺」と称し高田本山の直轄寺  
院に昇格しました。

平成十四年、境内墓地造成の許  
可を取得。

関東別院、東京神奈川護持寺  
院、武田家御一同の協力のもと、  
鉄筋コンクリート造三階建、総  
建坪三百坪の本堂庫裏客殿納骨  
堂の建築が始まり、平成十七年  
（2005）十二月落成しました。

その後、平成二十三年（2011）  
「横浜別院乗願寺」として別院と  
なり現在に至ります。

本来、横浜別院は現在の横浜市  
福富町に明治六年（1873）に  
説教所として開かれ、同十三年  
に別院公称の許可を得ました。  
しかし、同三十二年（1899）  
の横浜雲井町大火により本堂庫裏  
を焼失。同三十五年、再建に着手

し、同三十七年に落成入仏慶讃法  
要を勤めています。

その後、大正十二年（1923）  
九月関東大震災により焼失。太平  
洋戦争により焼失した東京出張所  
と合併して関東別院が開かれるこ  
とになりました。

時代の苦難を乗り越え、再び横  
浜の地にお念仏のご縁が生まれま  
したこと有難く尊いことござい  
ます。お同行のおられないゼロか  
らのスタートでしたが、現在は諸  
法会にも数多くのご参詣をいただ  
けるようになりました。

春には近隣の桜並木が見事に花  
を咲かせます。桜のように地域に  
しっかりと根を張って、ご法義を  
お取次ぎさせていただきます。

真宗高田派専修寺横浜別院乗願寺  
佑事 稲毛修一



←明治37年3月20日落慶法要



「燈炬殿だより」

企画展 お七夜さんって知ってる？

楽しく、深く「お七夜」を知ってもらおう展示



マスコットキャラクター「ちょうちん坊や」

このたよりが皆さんのお手元に届くころには、第3回目の企画展「お七夜さんって知ってる？」が始まっています。お七夜報恩講の時期とも重なることから、お七夜の楽しい行事の側面とその奥にある親鸞聖人を偲ぶ法会としての儀式の意味合をバランスよく紹介しています。

げられ、見事な輝きを放っている巨大な五具足も展示されていて、楽しいお七夜の雰囲気も味わっていただけます。さらに、マスコットキャラ「ちょうちん坊や」が質問するクイズ形式のパネルもつくり、子ども達にもお七夜を知ってもらおう工夫もしました。

展示場には、お七夜報恩講のメイン会場である御影堂の内陣でのお勤めに欠かせない五具足、礼盤などの荘厳具、説教高座を展示し、御影堂で勤まるお七夜の宗教儀礼の威厳を感じながら観覧いただけます。

展示にあたっては、玉保院さま、立法寺さま、用度講・御飯講の皆様には、貴重な品々を借用させていただきました。また、法式部の皆様、作事方の皆様にも大変な協力をいただきました。厚く御礼を

また、展示場の入り口にはお七夜期間中に専修寺山門に掲げられる提灯が掲



五具足



説教高座



お七夜再現展示

申し上げます。企画展「お七夜さんって知ってる？」には、ここでは紹介しきれない法宝物の数々が展示されています。

お七夜のもつ文化的意義と宗教的意味の両側面を魅力ある展示物で紹介した今回の展示、是非とも、多くの方にご覧いただければと存じます。

## こんな行事がありました

### 秋晴れのもと、納骨堂法会、秋法会、資堂講法会 初参式で笑顔ひろがる

十一月三日・四日に納骨堂法会、その後五日から十日まで秋法会、八日から十日まで資堂講法会が勤まりました。秋晴れのもと、県内県外問わず多くの善男善女のご参拝があり、共にお念仏のご法縁をよるこびました。また五日には初参式が行われ、赤ちゃんのはじめてのお参りに笑顔がひろがりました。



納骨堂に向かわれる法主殿



法主殿のもと、仏の子として阿弥陀さまに初めてのご挨拶

### 法会・行事案内

- 修正会 一月一日、二日、三日
- 報恩講 一月九日～十六日
- はたちの集い 一月九日
- お七夜婦人連合会 一月十一日
- お七夜坊守会 一月十二日
- 責任役員会 一月十三日
- お七夜婦人会初夜参詣 一月十五日
- お七夜竹あかり展 一月九日～十五日
- お七夜献書展 一月九日～十六日
- ののさまをえがこう展 一月九日～十六日

### 「竹あかり」を楽しんでください

好評のライトアップ「お七夜竹あかり展」が、次回のお七夜でも境内で開催される運びとなりました。

高田派閥系の幼稚園・保育園などから続々と力作が届いております。

一月九日の寺院名十七時三十分頃、点灯式が行われる予定です。



高田本山をデジタルでお楽しみ



専修寺チャンネル

国宝公開 どこでもつながる国宝彫刻群

高田本山 デジタルブック

検索



<http://www.senjuji.or.jp/nihonhaku/digitalbook/index.html?pNo=1>